

〈児童発達支援〉保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月25日

児童発達支援センターげんき

保護者総数(児童数)59 回答数19 割合32%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	5			<ul style="list-style-type: none"> やはり狭いと感じます。もう少し、外で遊びができたりのびのびするスペースがほしいです。 子どもたちが走り回るときにぶつからないかと思う時がありますが、職員の方々がよく見てくださっているので安心です。 人数が多いときは、動きづらそうです。 年長さんが多くなると、狭いと思う時がある。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> 人数もですがひとり一人の先生が良く見てくださっていると思います。 子どもたちへの対応は素晴らしいと思うが、それぞれがどれくらい専門知識があるかはわからない。 配置数は大丈夫だと思うが、資格の有無や専門の勉強をどれくらいしているのか不明。 しょう子先生が素晴らしい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18				<ul style="list-style-type: none"> 導線が分かりやすく、子どもが覚えやすいよう良く配置していただいていると思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18				<ul style="list-style-type: none"> とても良く掃除等も行き届いていて素晴らしいと思います。ただ、消毒(手指)の時に子どもの口に入ったり、机にこぼれたものをなめたりしないか心配です。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	18				<ul style="list-style-type: none"> とても分かりやすく、細かいところまで子どもを良く見て作成していただけて満足です。
	⑥	児童発達支援計画には、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」の内容の中から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> 家族支援の勉強会がなくなるので、今後どのような支援があるかはわからない(表下の※をご参照ください)。情報などがちゃんと入ってくるのか不安。地域支援はあまり実感はない。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> 行われているかもしれないが、素人にはそれぞれの課題にどの目標達成の狙いがあるのかわからない。
	⑧	活動プログラム ⁱⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	1			
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流する機会があるか	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 先日のさくら幼稚園での交流はとても有意義でした。 まだ、数回なので今後も続けばいいとは思っています。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング、保護者勉強会等)が行われているか	16		1	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎回とても参考になるお話をいただき、前向きに頑張れる機会になっています。 まだ、一度も受けたことがないです。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17			1	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗り降りの時など、少しの時間でも細かく子どもの様子を伝えていただいています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17			1	<ul style="list-style-type: none"> 三者面談とかはなく、親が話したい時だけなので、定期的とは違うと思ったから。

	チェック項目	ご意見				ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
保護者への説明等	⑮ 保護者懇談会や勉強会の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆さんとお話しする機会がとても有意義で楽しい時間になっている。 勉強会后、子どもたちを待つ間に、保護者同士話す機会があるので助かる。 勉強会がなくなるので、保護者同士ゆっくり話す時間が無くなるので・・・(表下の※をご参照ください) 保護者同士の話せる場が欲しい。 まだ、一度も受けたことがないです。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18				
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> 子に対してだけでなく、保護者の困りごとなども共有していただきありがたく思っています。 LINE等で、欠席や家の様子を伝えられたらなと思う時がある。 情報伝達のところで、LINEで欠席の連絡ができたらなと思う時がある。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	2	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 行事以外でも、いろんなことをホームページに掲載してもらえたらうれしいです。(日々のことなど)よくホームページのブログはチェックしています。 ゼロではないが、定期的とも違う気がするから。 無回答1
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	1			無回答1
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	2		3	<ul style="list-style-type: none"> 最近では、やはり地震が一番心配です。火災などの訓練に加え、長崎でも地震に対する訓練も必要だと思います。【センターから】単独通園では地震想定避難訓練も実施しています。 保護者に周知、説明はされています。訓練は不明。 無回答1
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2	5		<ul style="list-style-type: none"> 今から、非常用品など準備を先生方と一緒にはじめます。 無回答1
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	17				<ul style="list-style-type: none"> 泣いてしまう日もありますが、いつも楽しそうであってくれます。 バスに向かう時にニコニコで行くので、とても楽しみにしていると思います。 いつも楽しみにしています。お友だちと関わるのも楽しそうです。 無回答1
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	15	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 親子共に通所をはじめてから明るく、楽しい毎日が過ごせるようになりとても感謝しています。 子どもは楽しみにしています。親としては、もっと相談が必要です。 無回答1

※【センターから】⑥、⑮勉強会がなくなる・・・のご意見について

単独通園では、毎週水曜日を親子登園日として、親子療育2日、保護者勉強会2日を実施してきましたが、親子療育の実践を通して、より豊かな子育てにつなげていただきたいとの思いで、令和6年度から親子登園日は親子療育を行うこととしましたが、これまでの勉強会の内容は、親子療育の中で学べるように計画しています。

(注釈)

「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。